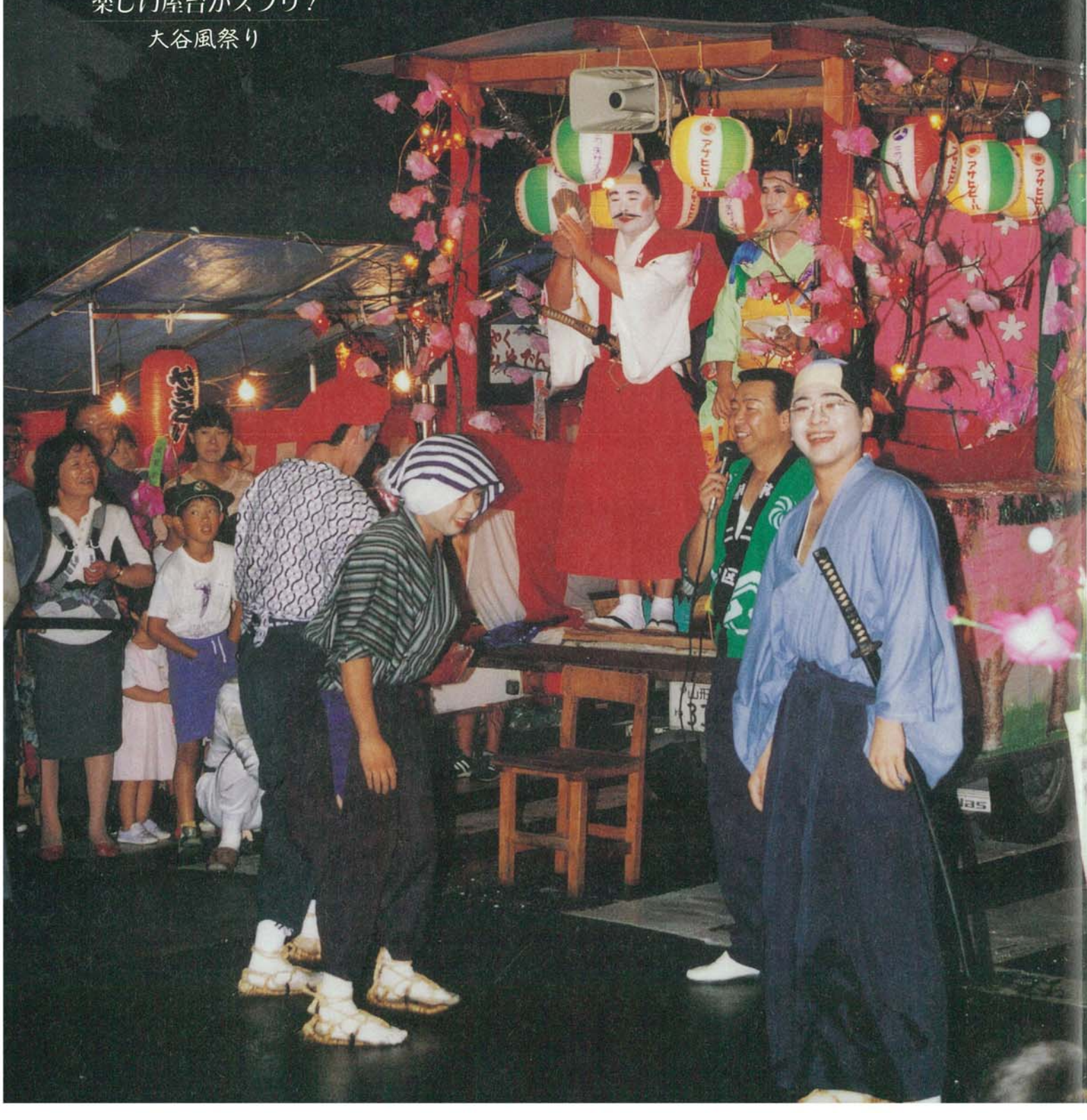
広報 あさひまち

ASAHI-MACHI

9 平成7年 (1995) 月号
NO.466

楽しい屋台がズラリ！
大谷風祭り



この感動を伝えたい

大谷風祭りの魅力を探る

毎年毎年さらに盛り上がりを見せる大谷風祭り。今年も八月三十一日の夜、各地区の手づくりの山車（屋台）や花笠おどり、お神楽や角田流獅子踊りが地区内を練り歩き、盛大に開催されました。なぜそんなに若者が燃えるのか。この活気あふれる大谷風祭りの魅力について、取材してみました。

風祭りの由来

大谷の風祭りは、江戸時代の宝暦年間（一七五一年）から行われています。その頃、二百十日頃に大暴風が三、四年続けて襲来し、農作物や住宅に大被害を及ぼしたため、村人たちは神様にお願いして暴風雨のこないようにしようと、二百十日の前夜に風祭りをしたのが始まり。これまで二百四十四年間つづけられている、伝統行事です。

その間、後継者問題などで一時期は、お神楽と田楽提灯だけになった時もありましたが、各区の若衆の力で見事に復活させ、現在に至っているのです。

年代を越えてみんな一つに

――鈴木孝義さん（大谷三）を訪ね、風祭りの魅力などについて、話を伺ってみました。

鈴木孝義さん（大谷3）

鈴木　大谷三の出し物は、子供お神楽と風神太鼓なんです。それに今年は、各区もちまわりのお神楽も大谷三が担当するので、全部で出し物は三つですね。

練習は夜に約十日間するんですが、大変だと言いながら、みんな一生懸命です。「祭りが好き」だから、区が一つにまとまって、他の区に負けまいとがんばるんです。今年も大いに盛り上がっていますよ。

風祭りの魅力は、年代を越えてみんな一つにまとまって汗を流し、成功に向け全力を尽くすことかな。練習が終わってから道路に座って酒を飲みながら、「もっとこうすればうまくいくのでは」とか、「あそこの地区の出し物は何々だそうだ」と話しするんですよ。これが区の親睦にもつながるし、すばらしいことだと思っています。

感動を与える手づくり屋台

次に、白田忠一さん（大谷二）に伺ってみました。

白田忠一さん（大谷2）

白田　大谷二の出し物は、昔話シリーズできています。今年は第四弾で「花咲かじいさん」をやるんですよ。みんなで観客

を感動させるには、どうしたらよいかと考えながら作る屋台づくりは、最高です。何と言って手づくりですからね。

数年前、平日では大変だから、土・日曜にしたらとの意見もあったようですが、二百十日の本来の意味を考えると、従来どおり八月三十一日になったようです。「やる時にはやるんだ」という、大谷の心意気みたいなものがあるんですね。みんな張り切っていますよ。これぐらい盛大な夜祭りは、他にはほとんどなくなってしまったけど、「伝統のあるこの風祭りを絶対なくすな」と、毎年益々盛り上がってくるようです。特に若衆ががんばっているんです。村おこしのためにも、ぜひ続けて行きたいですね。

ユニークな時代劇 今年は「水戸黄門」

次に、大谷五の〝壮年組織〟「峯友会」会長の阿部康夫さんを訪ねてみました。

阿部康夫さん（大谷5）

阿部　大谷五の出し物は、時代劇シリーズなんですよ。今年は屋台を出してから「十周年記念」ということで、第一回の時に演じて好評だった「水戸黄門」を出すことにしました。

峯友会が中心となってやっているんですが、台本は会員の手づくりなんです。去年は猛暑だったので、馬神池の水不足を題材にしたように、その年の事件を解決するといったユニークな時代劇なんですよ。

特にみんなから注目される主役は、気持ちがいいもんですよ。でもなかなかなれなくて、今年の主役になった人は、「十年目にしてやっと実現した」と言っているくらいです。みんな一生懸命やっているから、盛り上がってほんとうに楽しいですよ。

苦労するところもあるけど、みんなで力を合わせ成し得た時の感動は、何よりの宝なんです。

▲どうです屋台ちょうちんに描いた絵、うまいでしょう

▲威勢のよい花笠おどりで祭りを盛り上げる

◀ゲゲゲの鬼太郎もオバケといっしょにやってきた

▲子供たちは祭りが大好き！ハッピ姿もバッチリだ

◀ご存じ水戸黄門。助さん角さんを従え気分は最高

誇りと夢と甲子園の土をプレゼント

甲子園で東海山形の四番打者として大活躍した布施健太郎君が八月二十七日、緑が丘で練習に励む朝日野球スポーツ少年団（朝日サンフラワーズ）を訪れました。

布施君はこのスポーツ少年団の第三期卒業生。現在チームの代表で、当時監督だった石塚悦雄さんに指導してもらったとのことです。朝日フラワーズの子供たちは「おれたちの先輩が甲子園に出場する」と目を輝かせ、この夏休み、自慢げに友達に語ったり、健太郎先輩に激励の手紙を書いたりしました。

この日は、基本であるキャッチボールや素振り、塁のリードの仕方などを教えてもらったり、布施君が華麗な外野の守備や、するどい当たりのティーバッティングを披露すると、子供たちは「ウワーすごい！」「プロみたいだ」と歓声を上げ大感激。布施君は「野球でつらい時もあると思うが、途中であきらめないで、小中高校でもがんばってほしい。そしてぜひ甲子園にいってください」と子供たちを激励し、誇りと夢がいっぱい入った「甲子園の土」をプレゼントしてくれました。

打ち上げ花火も鮮やかに 宮宿商店街の夜観音まつり

商店街の活性化をめざし、子供たちに楽しんでもらおうと八月十日、夜観音まつりが宮宿駐車場で開催されました。

今年は出店を多くしたり、ビンゴゲームの商品に朝日自然観での豪華食事券十本を準備するなど、工夫をこらしたところ、これまでにない大勢の人が詰めかけ、会場は熱気でいっぱいに。また、緑が丘から数十発の花火も打ち上げられ、夏の夜空に鮮やかに映し出された美しさに、観衆は感激した様子でした。

町の話題

神秘的な音楽コンサート
八ツ沼の若衆会が企画

八ツ沼協同会（若衆会）創立百周年を記念した「飛躍音曼陀羅コンサート」が八月二十六日の夜、若宮寺で開かれました。

「どうせやるなら在り来たりでない、しかも心に残るものを」と、いろいろな意見を出し合って、若衆会が三年前から構想を練り、先祖と先輩方への感謝の気持ち、会の更なる発展を願って、この事業を開催したという。企画から運営まで、すべて若衆の手づくりというこのコンサートは、シンセサイザーやギター、和太鼓に、地元観音講といった、伝統と現代の楽器が織り成すめずらしいもの。

出演したのは、県内外の僧侶二十四人で、太鼓隊のダイナミックな演奏をはじめ、日本の音楽の原点とも言われる「声明」（仏教音楽の一種）など、十八曲を披露。美しい夜景が見え、かがり火やろうそくがともる若宮寺の舞台での、神秘的なコンサートに、訪れた人たちは「すばらしい、たいしたもんだ」と感嘆の声を上げていました。

歩いて楽しく学ぼう
第5回ウォークラリー大会

八月二十五日、「ねんりんピックウォークラリー大会」が、春日神社を発着点とする約二㌔のコースで行われ、歩いて楽しく名所・旧跡を学ぼうと、三十二チーム約百人が参加しました。

観察ゾーンの五本樋では、名水でのどを潤し、町指定文化財の鐘楼を見ては、鐘に書いてある文字や彫り物などについて、メモをとっていました。

参加者の中には「春日神社は初めて、こんないい所があるんだね」と、町の良さを再発見する人もいました。交通安全の問題も全チームが九十点以上と好成績で大接戦。その中で優勝をものにしたのは、助ノ巻チーム。

安全で安心できる消費生活を

製造物責任法（PL法）が施行

PL法ってどんな法律？

製造物責任法（PL法）とは、購入した製品に欠陥があり、その欠陥が原因で、けがや火災など身体や財産に被害を受けた場合、被害者は製造業者などに、損害賠償を求めることができるといった、消費者保護などを目的としてつくられた新法です。

今までとどこが変わったの？

これまでは、損害賠償を求めるには、製造や設計段階で製造業者などに過失があったことまで、被害者が証明しなければなりませんでした。しかし、被害者が立証するのはとてもむずかしく、あきらめたり、泣き寝入りするケースも少なくなかったと言われています。PL法では、製品の欠陥が事故の原因だったことさえ証明できれば、製造業者などの過失を立証しなくても、損害賠償を受けられるようになりました。

PL法の対象となる製造物とは？

「製造又は加工された動産」と定義しており、一般的には、大量生産・大量消費された工業製品がPL法の対象となります。不動産、加工されていない農林畜水産物（魚・肉・野菜）、形のない電気やソフトウエアなどには適用されません。

PL法でいう「欠陥」とは？

ここでいう製品の欠陥とは、その製品を普通に使用したかどうか、また引き渡した時期など、その製品に関するいろいろな事情を総合的に考えて、安全性を欠いている場合などです。例えば、製品を製造した時点の科学技術水準では、欠陥があることが予想できなかった場合など、企業の責任を問われない場合もあります。

また、PL法は製品の安全性の欠陥が原因で、その製品以外の財産や身体に、被害があった場合に適用されます。したがって、製品が単に壊れたり、故障したというだけや、性能や調子が悪いといった安全性と関係のない機能上の問題は、PL法の欠陥には当たりません。

製品の事故が発生した場合には？

PL法では損害賠償を受けるためには、

①製造物に欠陥が存在していたこと。

②損害が発生したこと。

③損害が製造物の欠陥により生じたこと。

の三つの事実を明らかにしなければなりません。

そのため、製品の事故が発生した場合には、現場の写真を撮っておくなど、事故の状況を確認・記録しておくことが重要です。事故を起こした製品を処分しないで、証拠品として、保管しておくことも大切です。

損害賠償を求める場合の請求先としては、その製品の製造業者、輸入業者、製造物に氏名などを表示した事業者で、単なる販売業者は原則として対象になりません。

私たち消費者が注意することは？

事故を未然に防止することが何よりも大切です。製品の使用・機能・内容の確認に努め、使用目的にあった製品を選び、取扱説明書や表示をよく読んでから使いましょう。

取扱表示や警告を無視して、事故が起きたときは、製品に欠陥はなかったと判断されることもあります。製品の保守・点検をこまめに行うことも重要です。

製品事故を防止するためには、私たち消費者もこれまで以上に、製品に関する知識を身につけ、自分に責任をもった行動が求められています。

PL法相談窓口

■国民生活センター
☎〇三―三四四六―〇九九九

■製品安全協会
☎〇三―三五九〇―六二三一

■山形県消費生活センター
☎〇二三六―二四―〇九九九

祝長寿

平成七年場所 長寿番付表

勧進元 朝日町

平成7年9月1日現在（年齢は数え年）

東

横綱	鈴木 いつ（助ノ巻）	102	
大関	鈴木はつよ（前田沢）	99	
関脇	長岡 スイ（大谷四）	97	
〃	佐竹 郁三（松 程）	97	
〃	岡崎 りつ（下苫沢）	96	
小結	鈴木 なゑ（小 原）	95	
〃	岡崎 くん（下苫沢）	95	
〃	佐藤 さく（大 滝）	95	
〃	鈴木やすゑ（元 町）	95	
前頭	白田重三郎（大谷六）	94	
〃	鈴木 イチ（大谷五）	94	
〃	高橋 栄作（水 本）	94	
〃	柴田 さく（四ノ沢）	94	
〃	佐藤みつゑ（大船木）	94	
〃	相座 みゑ（四ノ沢）	94	
〃	渡辺 喜芳（大谷四）	93	
〃	阿部マツヨ（前田沢）	93	
〃	長岡 ムラ（四ノ沢）	93	
〃	鈴木きくゑ（松 程）	93	
〃	佐藤ちゆう（本 町）	93	
〃	渡辺 利八（杉 山）	92	
〃	鈴木 捷夫（大谷五）	92	
前頭	志藤まつゑ（川 通）	92	
〃	堀 キン（舟 渡）	92	
〃	海野仁三郎（西船渡）	92	
〃	阿部ナオエ（大暮山）	92	
〃	清水 志ん（太郎一）	91	
〃	成原 半七（大 町）	91	
〃	川村 国吉（大谷五）	91	
〃	佐藤 惣吉（小 原）	91	
〃	清野 松次（小 原）	91	
〃	五十嵐あさの（中 沢）	91	
〃	阿部 石松（八ツ沼）	91	
〃	内藤 耕三（大谷四）	91	
〃	佐竹 ひて（夏 草）	91	
前頭	岡崎よし江（下苫沢）	91	
〃	菅井 太蔵（沼 向）	90	
〃	渡辺 たけ（送 橋）	90	
〃	鈴木カツヨ（松 程）	90	
〃	若月 まさ（西船渡）	90	
〃	宮田きくの（前田沢）	90	
〃	白田 志ん（大谷五）	90	
〃	鈴木とめよ（松 程）	90	
〃	村山 いせ（大谷七）	90	
〃	柴田孝太郎（元 町）	90	
〃	吉田 そゑ（西船渡）	90	
〃	若月 定吉（前田沢）	90	

西

横綱	志藤 きく（川 通）	99	
大関	佐藤きくの（平 ）	99	
関脇	長岡 とい（太郎一）	97	
〃	藤沢ひでの（杉 山）	97	
〃	熊谷タケエ（小 原）	96	
小結	安藤 リワ（送 橋）	95	
〃	阿部よしゑ（大谷四）	95	
〃	菅井トクエ（沼 向）	95	
〃	佐藤ヨシエ（助ノ巻）	95	
前頭	白田 さと（大谷五）	94	
〃	渡辺とくゑ（古 槙）	94	
〃	小川 こう（太郎二）	94	
〃	長岡 ヤス（太郎一）	94	
〃	佐藤たつゑ（沼 向）	94	
〃	木村みさを（大谷四）	93	
〃	長岡仙太郎（太郎一）	93	
〃	白田藤治郎（大谷二）	93	
〃	今井 ゆみ（大 町）	93	
〃	長岡 ゑん（西 町）	93	
〃	渡辺もゝの（大 町）	93	
〃	安藤さと江（松 原）	92	
〃	大谷 国勝（大谷一）	92	
前頭	清野 きよ（大谷四）	92	
〃	阿部マサナ（真 中）	92	
〃	白田 よす（大谷五）	92	
〃	後藤よし江（太郎二）	92	
〃	鈴木久次郎（助ノ巻）	91	
〃	鈴木キクエ（四ノ沢）	91	
〃	長岡幸一郎（太郎三）	91	
〃	鈴木 弥一（栄 町）	91	
〃	阿部 龍己（太郎一）	91	
〃	佐竹 儀七（松 程）	91	
〃	佐竹 ちや（八ツ沼）	91	
〃	鈴木 亀蔵（西 町）	91	
〃	阿部源太郎（大暮山）	91	
前頭	阿部 マサ（立 木）	91	
〃	川村ちとせ（大谷二）	90	
〃	高田 ハル（元 町）	90	
〃	佐藤志のぶ（小 原）	90	
〃	今野不二雄（本 町）	90	
〃	縄 きよ（大谷四）	90	
〃	鈴木喜代治（大 町）	90	
〃	白田 常松（大谷六）	90	
〃	阿部きくよ（常 盤）	90	
〃	村山 なを（常 盤）	90	
〃	阿部 勝秋（常 盤）	90	

東の横綱 鈴木いつさん（助ノ巻）
90歳以上の長寿者は93人

九月十五日は敬老の日。各地で敬老会が行われ長寿を祝いました。九月一日現在で九十歳以上の長寿者は町内で九十三人。今年めでたく白寿を迎えられた方が三人、米寿者が三十八人、喜寿者がちょうど百人となっています。敬老会では米寿や喜寿者に対し、県知事や町からの賀詞と記念品が伝達されました。

町内の長寿番付で、東の横綱についたのは、鈴木いつさん（助ノ巻）百二歳。

内陸循環鉄道（左荒線）
新たな方向を検討

明治四十五年以来の左沢駅と荒砥駅を結ぶ左荒線構想。昭和四十九年に五市六町で、内陸循環鉄道（左荒線）促進期成同盟会を発足し、県の重要事業に組み入れながら、実現に向け積極的に運動を展開してきました。

しかし、国鉄の分割民営化後は、長井線が第三セクターに移行されるなど、「採算性の重視」が経営の基本方針となっており、左荒線のような多額の資本を必要とする地方新線鉄道の建設は、現今の情勢から極めてむずかしい状況となっています。

また、山形新幹線開業に伴い、奥羽本線の軌道が広軌道になったことから、長井線などと軌道が合わず、循環鉄道構想事態が岐路にたって現在に至っています。

このようなことから、八月十一日に開かれた同盟会総会では、「本鉄道は県の重要事業に取り入れながら運動を展開してきた経緯もあり、鉄道にかわる代替案を検討する」といった、平成七年度事業計画案が承認され、鉄道以外の交通体系について、検討されることになりました。

▲玄関を入ると広いロビー。椅子や机からは木のぬくもりが伝わってくる

▲「学習会や研修会、交流の場として大いに利用して下さい」と式辞をのべる清野町長

生涯学習の拠点
秋葉山交遊館が完成

県営中山間地域総合整備事業で建設が進められていた、多目的活性化施設「秋葉山交遊館」の竣工式が九月七日、地区民や町関係者ら約百五十人が出席して行われ、待望の施設の完成を祝いました。

障害者の方も使い易いようにと、木造平屋建てで、床面積は約八五〇平方メートル。ホールのモダンな天井が特徴で、総事業費は二億三千六百万円となっています。このすばらしい施設は交流の場はもちろん、研修会やイベント開催など、生涯学習活動の拠点として大いに期待されています。

▲中庭や駐車場も整備され環境バツグン

カメラさんぽ

▲視聴覚教室

▲事務室
窓から見える風景は美しい

▲真新しい調理室に心もはずむ

▲建設にあたって備品等を寄贈していただいた方に
感謝状を贈呈（写真・名誉町民志藤六郎氏）

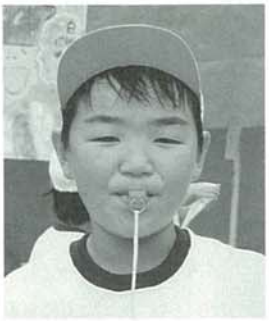
▲さっそくお茶会で利用（研修室）

▲祝賀会では若柳由美代さんの祝舞も披露されて〝華〟をそえる

落成を祝う勇壮な角田流大谷獅子踊り、笛や太鼓
▼の音が秋風にのって山々にこだまする

▲朝日町ワインで「乾杯」祝賀会には地区民ら約150人が出席

みんなのひろば



すてきな仲間たち

劇団〝りんご村から〟

ロマンを求めて今……

何か楽しいこと、自分たちで楽しめることをやろうと、劇団「りんご村から」が発足。りんごの名産地朝日町から、何か情報を発することができたらと、自分たちの身近なテーマを題材に、創作劇ばかりを手がけ９年目を迎えました。

その間、町民の皆様からご支援をいただき、芸文祭にも毎年出演。全国青年大会にも県代表として出場しました。いつも苦労の連続ですが、作り上げてゆく苦労が、舞台の上で〝華〟開くことを思いがんばっています。常にロマンを求める座長は、「動かぬ花より転がる石でありたい」と、今年も新作に向けて取り組んでおりますので、一緒にやってみたい方、気軽に声をかけてください。

新婚さん

大谷六
長岡　芳徳さん
佳子さん

花笠踊りの練習の時、芳徳さんが佳子さんに教えたのがきっかけで付き合い始めた二人。「ニコニコしててよくはしゃぐ子だ」という印象をもった芳徳さん。初デートからハネムーンまで、わずか１年というスピードで射止めた佳子さんと、アツアツの新婚生活を送っています。

「あまり人の行かない所へ行きたい」とタヒチへ新婚旅行。空と海の色がとてもきれいで、二人きりの楽しい時間をすごしたとのことです。

結婚前は、どこに行っているかわからなかった鉄砲玉!?の芳徳さんも、今は仕事が終わると真っすぐブーメランのように家に帰るそうで、「自分の時間が少なくなった」とぼやくわりには、幸せいっぱいといった顔をしていました。

どんな夫婦になりたい？との質問に、即座に「チャーミーグリーンのような夫婦に!!」と答えてくれた２人。オ・シ・ア・ワ・セ・に。

（先生が話をしているとき、ふざけて騒いでいたB君）

保　母　「B君、静かにしてください」

園児A　「あんまり、ほだなことばっかりしてっと、〝アホください〟ってやれるよ」

園児B　「ぼく、シャンプーしてきたから、くさぐないも」

園児A　「？　？」

せんせい ふたば保育園 あ・の・ね

ひとことトーク

ガイドブックにないアメリカ

～人にやさしい都市づくり～

阿部　元彦さん
（大暮山）

国際ロータリー第二千八百地区（山形県）の交換研修生として、四月中旬から約一カ月アメリカ中西部のコロラド州に行ってきました。

七つの家族にお世話になりホームステイを経験し、多くの人との交流の機会に恵まれ、ガイドブックには載っていない本当のアメリカを、ほんの少し理解できたような気がします。

コロラドには行政機関や最先端技術の工場が多く集まっていますが、車イスの人でも歩くのに支障がないように、段差のない車道と歩道が整備され、きめ細かいアメリカの都市づくりには感心してきました。

また、外国から自分の住んでいる町をあらためて見つめ直すことができ、朝日町のすばらしさを再発見できたような気がします。

わが家のアイドル

「エッヘッヘ、照れるなあ」
鈴木美咲ちゃん（４歳・松程）
（両親は敏広さん・元子さん）

「仲良しの兄妹で～す」
堀　春奈ちゃん（１歳・中沢）
（両親は雅彦さん・由紀子さん）

「ぼく、とってもいい子だよー」
長岡　功ちゃん（１歳・太郎３）
（両親は雅彦さん・早苗さん）

「わたしの赤ちゃん」
鈴木絵莉ちゃん（２歳・西町）
（両親は好見さん・眞佐美さん）

おじゃまします 社長さん

㈲佐竹法面工業（のりめん）

（新宿）

景観にマッチした法面工事は一つの芸術作品

会社は宮宿バイパスにある

社長　佐竹房夫さん
昭和13年12月14日生まれ
趣味　海づり・菜園づくり・カラオケ

▼会社では、主にどんな仕事をしているのですか。

山などの斜面の土などがくずれないように、斜面にコンクリートを吹き付けたり、草を植えたりする法面保護工事をしております。仕事は県内九割、県外一割となっています。

▼従業員数や会社の概要を教えてください。

昭和五十年六月に独立開業し、営業の充実と事業の拡大をめざして、昭和六十年十二月に有限会社を設立、新たな気持ちでスタートいたしました。

現在社長を含め、十五人のスタッフで事業に取り組んでおります。

▼会社で自慢できることは何ですか。

みんなで努力し立派な工事を行い、平成二年に我が社の山形ー朝日線の相ノ沢地区の法面工事が、東北法面協会の最優秀に選ばれ、表彰を受けたことです。

▼社長がいつも心がけていることを教えてください。

高所作業なので事故のないよう特に気をつけて、良いチームワークを常に心がけております。そして環境に適した工事と景観をも考慮しながら、良い作品をつくり上げようと、社員みんなで努力しています。

交流の輪が広がる

西部地区スポーツフェスティバル

スポーツとレクリエーションをとおして、親睦を深めようと八月二十日、西部地区スポーツフェスティバルが健康増進センターなどを会場に開かれました。

今年で二回目の開催で、輪投げやグラウンドゴルフなどもあり、だれもが気軽に参加できるとあって、子供から年配者まで約六百人が参加しました。

インディアカは、男女四人の混成チーム。子供たちの「がんばれー」の声援を受け、必死にシャトルを追いかけていました。グラウンドゴルフでは、ホールインワンも出たり、ソフトボールでは珍プレー・好プレーがあったりと、楽しさいっぱい。

また、輪投げでも輪が入るたびに歓声が上がり、会場には笑顔があふれていました。西部地区が一つにまとまり、さわやかな汗をかいた参加者たち。その顔は生き生きと輝いていました。

ぼくのおばあちゃん

太郎3
大井　隆太くん
（立木小3年）
正太くん
（立木小5年）
潔　くん
（立木小1年）
おばあちゃん
サツさん（66歳）

ぼくのおばあちゃんは、りょうりを作るのがじょうずです。ぼくは、大こんじるが大すきです。でも、つけものがにがてで、食べられません。早くおばあちゃんのつけものを食べられるようになりたいです。

おばあちゃんは、ぼくに、べん強のわからないところも教えてくれます。それにわすれものも教えてくれるし、おばあちゃんはやさしいです。いつも元気で長生きしてほしいです。

―隆太―

春のインタビュー

〈プロフィール〉
堀　祐子さん（22歳）
真中・山羊座・O型
㈱寒河江技術コンサルタント勤務

Q趣味・特技は
インテリアに興味があって、雑貨屋さんを見て回るのが好き。バイクでツーリングや、少林寺拳法もやっています。

Q休日の過ごし方は
お弁当を作って、山や公園に行ったりしています。青空の下で食べるのはおいしいですよ。

Q今、してみたいことは
井上ひさしの本を集めてますが、忙しくて読む暇がないので、ゆっくり読んでみたい。それにこまつ座の劇もみてみたいです。

Q理想の男性と結婚は
向上心と実行力を持っていて、お互い尊敬し合える男性がいい。自分自身が未熟なので、もっといろんな勉強をして、自分を本当に頼れるようになってから、結婚したいです。

Qどういう町にしたいですか
今年の春まで一人で生活していましたが、帰って来てホッとしました。町民がいつも、心の安らぐような町であれば、いいと思います。

Qワイン娘になった感想は
みなさんに楽しく過ごしていただけるよう、がんばります。

図書券が当たる 広報クイズ 今すぐ応募しよう！

【問　題】
問1 左の見事な「ほうき松」は、どこにあるでしょうか？
A新宿の館山　B太郎の暖日山
C大谷の初月山〈ヒント6月号〉

問2 9月1日現在の町内の長寿番付ナンバーワンは何歳？
A 104歳　B 102歳　C 100歳

【応募方法】（9月30日締め切り）
ハガキに答えを記入し、住所・氏名・年齢・電話番号を書き添えの上、宮宿一一一五朝日町役場内「広報あさひまち」まで。正解者の中から抽選で3名の方に、図書券をプレゼントします。どしどしお寄せください。

【先月号の当選者】鈴木輝子さん（元町）・阿部正樹さん（今平）・菅井俊逸さん（宿）

【先月号の答え】B　A　C

農業の大切さを実感！

小学生グリーンスクール

農村にくらしている子供たちでさえ、農業に触れる機会が少なくなり、関心が薄れているのが現状です。

そこで、たった一日ですが農業体験をとおして、農業について関心をもってもらおうと、農業研究所で８月８日小学生グリーンスクールが開催されました。

町内からあつまった28人の小学生は、ジャガイモなどの農作物を収穫し、それを加工して味わうことに挑戦しました。畑に出て土の中から大きなジャガイモをほりだす様子は、収穫の喜びが体中からあふれでていました。

お昼は、それを使ってカレーを作りましたが、新鮮な農作物のおいしさに大満足の様子でした。

午後からは、手づくりソーセージに挑戦です。ふだん何げなく食べているものを作るとあって、興味しんしんで真剣に取り組み、世界でたった一つのオリジナルソーセージが完成しました。

ほんの少しの体験でしたが、農業に関心を持つきっかけになってくれることを期待しています。

学んだ技術を生かしたい

マイニット中国研修生が帰国

中国の上海市から長期研修生として、株式会社マイニットで技術研修を積んできた女性10人の壮行会が９月８日、朝日自然観で開かれました。一行は２年前に町商工会が窓口になって来町し、社宅で自炊生活をしながら、生産工程やデザインなどの実践的な技術習得に励んできたものです。

この日の壮行会では、秋葉健弥マイニット社長から修了証が手渡され、清野町長や川嶋商工会長が「日中友好のかけ橋になってほしい」と祝福しました。

日本語も話せるようになった研修生たちは「町の人や会社の人がとても親切でした。マイニットで学んだ技術を、ぜひ母国で生かしたい」と感想を語り、希望に胸を膨らませていました。一行は９月13日に帰国。

よくわかる「エコミュージアム」入門 ④

エコミュージアムは「まちを元気にする」

第一回目に、「遺産（資源）を活用して地域振興をはかろうというのが、わが町のエコミュージアムだ」とお話ししました。

これまでの博物館とエコミュージアムの大きな違いは、ここにあります。

従来の博物館は、学術的な研究のための施設でしかない場合が多かったのですが、〝地域振興のための博物館〟として、新しい考え方のもとにエコミュージアムが生まれたのです。

さて、商工会の主催による地域資源の調査事業が始まりました。「ふりむけば見えてくる」をキャッチフレーズに、新たな観光や特産品づくりの提案を募集しています。

これは、町の持っている良さを見つけだし、産業開発に結びつけようというもので、エコミュージアムの考え方と同じものです。

町に転入された方が、「町の人は宝の山の上に住んでいるのに気がつかないでいる。もったいないね」と言われていました。

全国には、水や自然な食べ物など、それまで気がつかなかった何げないものを売り出し、成功している所もあります。

もしかしたら、町には、もっともっと見過ごしている資源があるのかもしれません。

町内には、いろいろな文化財や素晴らしい自然、伝わってきた生活技術、農業技術、独自の暮らしなどがあります。

それらを博物館だとし、地域の隠れた価値を見つけ出す仕組みをつくるのが、エコミュージアムです。

（朝日町エコミュージアム研究機構）

町の良さを見つけ出し、新たな観光や特産品に

3歳児虫歯ゼロのお友だち

健康な歯はすばらしい

鈴木　省吾くん
（雪谷・義彦）

斉藤　智紀くん
（長沼・正一）

阿部　洋介くん
（立木・直行）

清野　春花さん
（小原　寿浩）

鈴木　千穂さん
（大谷５・直幸）

桑原　幸穂さん
（栗木沢・誠）

長岡　泉さん
（常盤・信悦）

堀　一樹くん
（舟渡・美樹子）

菅井　隼くん
（宿・健治）

安藤　一樹くん
（西町・真一）

清野佳奈子さん
（大谷２・正弘）

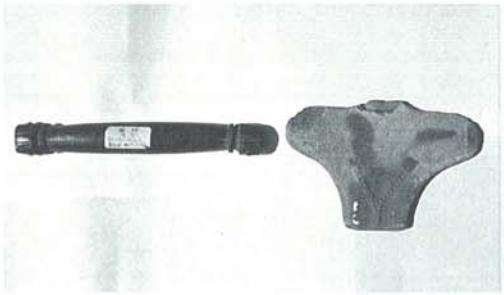
伊藤　大貴くん
（四ノ沢・秀一）

清野　真伍くん
（四ノ沢・英美）

近藤　香澄さん
（栄町・武）

町の文化財シリーズ

土偶・石棒（上郷松尾亮蔵氏所蔵）



いずれも上郷のヒデリ田より出土したものです。土偶は頭部および腰部が欠損しており、立体的でなく板状となっています。最大の長さは縦一六㎝、横二四㎝。秋田、青森両県に分布する円筒式土器に伴って出土する、土偶とも相通じており、約四、五千年前の縄文中期の土偶型式としては、特異なものです。

石棒は磨製の石器で、長さ二九・五㎝、最大部の直径四㎝、周りが一二・五㎝のものです。縄文中期の石棒として標準となる形をしており、土偶の年代考証の上からも大変貴重なものです。昭和四十五年五月二十五日、朝日町有形文化財に指定されました。

ばあちゃんの知恵袋 ⑤

栗がお店にでまわったら、栗の渋皮煮をつくってみましょう。

＝材　料＝	
栗	1 kg
砂糖	700 g
重曹	大さじ3〜4
ラム酒	少々

①渋皮に傷をつけないようにていねいに鬼皮をむく。（最近は栗の皮むき器なども売っている）
②ホウロウ鍋に栗がかぶるより少し多めの水と重曹（大さじ1.5）を入れ沸騰後４〜５分ゆで、きれいに洗う。これを１〜２回繰り返す。
③渋皮の筋をとり、きれいな湯で２〜３回湯でこぼしをする。（多めにした方があくがぬけ色よくできる）
④かぶる位の水と砂糖（３回に分けて）を入れ、煮くずれしないように煮る。
⑤ラム酒を少々入れ火を止める。照りがでて、香りもよい。

コツ
- 熱湯に10分位入れておくと鬼皮が柔らかくなりむきやすい。
- 食べきれない時は、汁ごとチャック付きの保存パックに入れ冷凍できる。

鈴木たかさん（西町）

おいしい栗の渋皮煮

■広報あさひまち　第466号　平成7年9月15日発行　■発行　山形県朝日町　■編集　朝日町広報委員会／山形県西村山郡朝日町大字宮宿1115　☎0237(67)2111　■印刷　豊田太印刷所

こせきのまど

8月1日～31日
届出

すこやかに
（出生届）

区名	出生児氏名	父名
中沢	五十嵐 大義（たいぎ）	義行
大谷七	堀 智哉（ともや）	修一
前田沢	今井 麗奈（れな）	浩利

おしあわせに
（婚姻届）

浅井周一	♥	大類葉子
元町		尾花沢市
大場仁	♥	鈴木由子
栄町		大江町

やすらかに
（死亡届）

区名	死亡者氏名	世帯主
松程	佐竹實	實
助ノ巻	鈴木又四郎	廣美
大船木	鈴木たけよ	善男
大谷四	長岡マツエ	金七
杉山	鈴木きみ	竹次郎
松程	阿部仁	トシ子

人口と世帯数

●平成7年8月31日現在

人口		10,042(増 9)
	男	4,990(増 4)
	女	5,052(増 5)
世帯数		2,561(増14)

（ ）内前月比

わたしの作品

〈送橋小学校〉

「夏の風景」
6年　清野美紀子さん

「大ナラの木って楽しいよ」
2年　清野友麻子さん

「大ナラの木に登ったよ」
1年　渡辺ちひろさん

「県庁の16階は最高だ！」
4年　大滝明日香さん

八ツ沼春日神社祭礼

春日神社のお祭りが八月十五日行われ、大ばんてんを羽織った奴や、大名行列などが地区内を練り歩きました。沿道には区民や帰省客らが大勢つめかけ、繰り広げる見事な祭りに感動しながら、しきりにカメラのシャッターを切っていました。

春 夏 秋 冬

編集後記

▼このページの「こせきのまど」の欄は、必ず見逃さずに見ているという人も多いようです。赤ちゃんの誕生や結婚など、生活に密着した身近な情報だからとのこと。最近結婚したカップルをみると、町外から相手を見つけてくる人が特に多いようです。「人情味豊かで果物もおいしく暮らすには最高だ」と言われる朝日町に、住む人が増えることは大歓迎。心から温かく迎えたいものです。

▼わが家のアイドルコーナーも好評のようです。子供たちの笑顔、生き生きとした姿は、ほんとうにいいですね。このコーナーに、あなたの子供さんやお孫さんの写真も載せてみませんか？きっといい思い出になると思います。広報クイズの応募者が少ない月もあります。あなたに当たるかも知れません。どしどし応募してください。（安藤）